



大臣就任 細川氏は3列目左から2番目

があるんです。上げ足を取られそうな質問もあります。とにかく、滅茶苦茶忙しくて、自宅にはぜんぜん帰れなかつたですよ。大臣の約1年間で越谷の自宅に帰ったのは2回だけでした。

◆大臣就任が決定された時、高知のお母様に電話されましたか？

電話はしなかつたなあ。私の仕事は国民の為に働くことですし、家族のことより国全体のことを考えるようにしていますから、母に電話することなど思いつかなかつたですね。電話すれば母も喜んでくれたかもしれませんかね。

◆大臣のお仕事は随分お忙しいんでしょうね

朝、車の中で秘書官から資料を渡され、それに目を通す。一日がそこから始まります。国会で質問を受ける場合は、朝5時頃から答弁案の検討など対応の準備をしながらはなりません。事前に質問事項は出されているのですが、抽象的な表現が多くて、いろんなケースを想定して回答を準備する必要

◆大臣になるとSPが付くようですが、どこに行かれる時もSPは付いて来るのですか？

朝、議員宿舎のエレベーターを降りた時から、夜、宿舎に戻るまでSPはずっと張り付いています。トイレにまで付いて来ますよ(笑)。SPは2人の交代制で対応しています。

◆政治家になられたきっかけは何でしょう？

弁護士を始めて10年経った頃、サラ金地獄に陥った沢山の人から相談を受けているうちに、これは一人ひとり対応しても追いつかない。制度を変えなければいけない。思っている時に「衆議院選に出ないか？」と社会党の代議士さんからの声掛けがありました。39歳

の時でした。その時は代議士がこれほど大変な世界だと思わなかつたから、立候補することにしました。(笑)。

◆政治生活で一番感動されたことは何ですか？

中学を卒業してから大阪に丁稚奉公に出た中学時代の友人が、私が国政に出ると聞いて「足しにしてくれ」と送金してくれたことがありました。きつと高くはない給料からコツコツ貯めたお金だと思えます。あれにはビックリしました嬉しかつたなあ。とつても感動しましたよ。

◆弁護士としてもご活躍され、大森勸銀事件の「逆転無罪」がテレビドラマ化までされましたね。

あれは1970年に旧日本勧業銀行の大森支店で宿直行員が掃除機のコードで絞殺された事件です。容疑者の自白もあつたため地裁では無期懲役の判決が出ていました。容疑者は公判で自白は誘導であり無罪を主張していましたし、掃除機のコードでの絞殺の仕方やいくつかの疑問が残る部分があつたので、最後まで諦めず徹底的に調べた結果、矛盾点が見つかり、高裁で「逆転無罪」を勝ち取ることができました。ドラマでは所ジョージさんが主演されました。

◆学芸高校を受験された理由は？また、学芸に入られた時の印象は如何でしたか？

二つ上の姉が追手前高校に行つていまして、その姉が「学芸を受けたら？」と言つたのがキツカケでした。中学3年の時でしたが、吾北村から自転車に乗り、一人で高知の町まで参考書を買に行きましたね。それから受験勉強を始めました。

田舎育ちの私にとって、学芸の人達は垢抜けした人に見えて、カルチャーショックを受けたものでしたねえ(笑)。

◆学芸高校で部活は何をされていましたか？

ソフトボール部でした。小川(こがわ) 中学時代には、私がソフトボール部を立ち上げ、県体で決勝戦まで行ったこともあるんですよ。学芸のソフトボール部の部長は宮



高校時代の修学旅行、帽子の校章も



「親孝行もしなくては…」お母様と

地先生でしたが、その頃は宮地先生もまだ若くてソフトボールのこともあまり詳しくなかったので、私が教えてあげたりしたこともありました。私はピッチャーをしていまして、クラスマッチで全校優勝したこともありますよ。

◆何かを立ち上げるのは、中学時代から始まっていたんです  
代から始まっていたんです

そう言われれば、そうかもしれないですね。中学校では生徒会も作りましたね。吾北村は5つの中学校があり、連合生徒会も作りましたね。高2の時、安保闘争があり高校生集会にも出かけたっていました。

◆生まれ育った吾北村はどんなところでしたか？  
私の家は養蚕業を営んでおりま

した。山の多いところで絹糸を作る「お蚕(かいこ)さん」です。小川中学校のクラスから高校に行つたのは僕一人だけでしたし、恵まれた人生だと感謝しています。

◆大臣をなさっていた時、吾北村のご実家に帰ったことはありましたか？

8月の原爆の日に広島に行った後、高知に一度帰ることができました。私は派手なことにはたくなかったので、高知県警には道路から何からの警備などで手間をかけるのは心苦しかったけれど、吾北村も通つて90歳の母と懐かしい村の人達と昼食を共にできたことは嬉しかったですね。高知の学芸の同窓会にも顔を出すことができたのも良かったです。

◆高知の好きなこと、嫌いなこと(もの)は何ですか？

皿鉢料理を食べながら美味しい地酒を飲んでワイワイ騒ぐのがいいですね。高知の嫌いなこと…、何だろう？土佐の食べ物で苦手なものも特にないし、思いつかないなあ。すべて好きだということかな？

◆それでは高知の食べ物で一番好きなものは何ですか？  
なんとと言っても一番は文旦だね。文旦は大好きで、皮を剥くのも上手いもんですよ。

◆もし、高知に帰って生活されるとしたら、何をやりたいですか？  
やっぱり百姓ですかね。育つた環境のせいかもしれません。「お蚕さん」はやりませんがね(笑)。

◆これからの高知県に何か向けてのメッセージをお願いします  
可能性はいくらでもあるんじゃないかな。例えば、四国八十八ヶ所。巡礼のメッカとして世界的にアピールしてもいいんじゃないのかなあ。何故なら、今悩んでいる人がとても多いし、精神を病んでいる人も沢山います。そんな中で、ひとつの目的を達成できる何か目標みたいなものがあると良いと思うんです。

◆学芸高校同窓会の関東支部長として今後の抱負をお願いします  
同窓会の関東支部は、25年前の上海列車事故がきっかけで発足しました。あの悲しい事故を決して風化させないようにしたいと思います。関東支部の活動には若い人達にも大勢参加して戴き、もっともっと盛り上げてもらいたいです

ね。大臣の時は忙しくて支部長の役割を果たせず、役員の方々や学年幹事の皆さんに頼りっぱなしで申し訳なく思っています。しかし、私も支部長が長くなっており、マンネリは良くないので、そろそろ若手にバトンタッチして関東支部を活性化すべきではないかと思っています。



取材後の記念撮影 インタビュアーの伊野部さんは「？」年前の学芸の制服着用です。左から 西川龍一(23期)、伊野部京子(23期)、細川さん(3期)、岡本洋(8期)

◆学芸高校の後輩へ向けてのメッセージもお願いします  
可能性はいくらでもあります。思い切つて存分にやってみてほしいなあ。自分に合った生き方を見つけて下さい。

本日は長時間お付き合い戴き、ありがとうございました。

# 各期の声

## 「奥武蔵トレッキング」の おすすめ

宇賀 康健（3期）



「子の権現」前（2013.5.26）

宇賀氏左端、國見氏は左から3番目、宮氏右端

名」の善男善女。一昨年晩秋にトレッキングに情熱を傾ける宮侑司氏（3期）の主唱で発足した我が「学芸・里山トレッキングクラブ」です。

爾来、正月を除く奇数月に飯能から天覧山・多峯主山、巾着田を眼下に見る日和田山・物見山、ユガテ・北向き地藏、鎌北湖・ヤセオネ峠、正丸峠・伊豆が岳、関八州見晴台、神仏習合の竹寺・子の権現等々奥武蔵一帯を巡り「若さ」と「奥武蔵の四季」を満喫しています。今後は大菩薩嶺、赤城山から房総の鋸山まで足を伸ばす構想もあります。

また、國見昌宏氏（1期、俳句の宗匠）提唱で参加者の文学的素養育成の一助として、道すがら感動した一句が求められ、ただひたすら歩きに興趣を添えています。これらの句は宗匠の添削で輝きを増し、後日作成の道中記たる「紀行文」に掲載され、各位の更なる奮起のもとともなります。

トレッキング後には反省会と称し、池袋での懇親会での潤しながら盛り上がるのも参加者を引きつける要因のひとつになっています。

愉快に歩いた道中の紹介として5月開催の國見氏の紀行文の一端を以下に転載します。どうぞ楽しんでみましょう。興味を持たれた方は是非参加下さい。受付窓口は前記の宮氏で、その詳細は昨年9月発行の「あさかぜ25号」の16ページを参照下さい。

『今回の里山トレッキングは、飯能駅から竹寺・豆口峠、子の権現・西吾野駅まで約10キロのコース。今日の天気は晴、気温はやや高いも湿度が少なく、爽やかな絶好のトレッキング日和。（國見の万歩計によると、自宅発・自宅着で25,949歩、16・8km）

飯能駅からタクシーに分乗して竹寺に直行、ここからトレッキング開始。竹寺は都心に近いため、文人墨客の登山も多く、「奥武蔵俳句寺」として有名で、境内には俳人の句碑がありました。

本坊から牛頭天王本殿に至る途中、太陽を受け柿の若葉が光っています。金属製の大鳥居に茅を束ねた大きな「茅の輪」を潜り、心身の清浄を願う。石段を登った先にある牛頭天王本殿は茅葺き、本殿下の斜面で筍が数メートル伸び、親竹の葉が黄葉して薫風に舞

い散っている。竹寺と謂えども鳥居があるのは、やはり神社の証、神仏習合を実感します。

竹寺の 竹の鳥居に 柿若葉  
（國見作）

宮君お薦めの鐘を撞くため鐘樓堂を目指します。牛頭天王本殿脇から勾配の急な坂道を喘ぎながら登ると途中に小さな祠、鐘樓堂は更に上、山の頂上です。鐘は流石に立派、その音は遠く子の権現まで届くという。

嶺越えて 鐘の音響く 五月空  
（岡崎君作）  
鐘の音も 人それぞれの響きあり  
（石川君作）

## 医薬品の

## ネット販売を考える

川添哲嗣（27期）



私は高校時代、マンドリン部に所属し、理系男組で尾崎先生のもと、楽しく過ごしました。卒業後、神戸学院大薬学部を卒業後、メーカー営業や病院薬剤師を経て、平成10年から高知で薬局の店頭に立っています。

さて、先日「医薬品のネット販売の是非」が大きな話題になりました。皆さんはこの問題をどのように捉えられていますでしょうか。賛否両論あると思いますが、薬剤師の立場でその利便性と危険性を整理してみたいと思います。

まず、便利になること。なんと言っても育毛剤、妊娠検査薬、強精剤など薬局店等では購入しづらい薬もネットなら気軽に購入できます。これは実は私も共感できます(笑)。(注…もちろんネットでもきちんと問診を受けてご購入ください)大変申し上げにくいのですが、私の考える利便性はこの1点で終了です。

次に、便利にならないこと、いや実は二度手間では?と思うことです。例えば皆さんが急に熱、咳、痛みを感じたとします。今すぐ症状を抑えたいですよ。店頭なら相談しながらすぐ購入できます。しかしネットでは数日かかります

ので無意味です。あるいは、しばし我慢してネット購入したとしましょう。しかし広告文言を読むだけで素人判断で購入するわけですから、薬の選択間違いをすれば効果が無いわけですね。結局、街の薬局で相談して買い直し…あるいは結局医療機関に診察に行く…なんてことも十分想像できます。これが本当の二度手間です。

最後に、危険だと思ふことです。まず服用量。これは年齢だけでなく、体重、既往歴、肝機能、腎機能そして飲み合わせなども考慮して薬剤師はアドバイスするのが本当です。(そんなことしてくれないぞ、という声も聞こえてきますが)それが無いまま自分で判断して服用するということは過少か過量になっている可能性もあるという事です。市販薬もナメタライカンゼよ!と言いたいですね。

あと一つ危険な点。それは「故意の過量服用」です。コデインやエフェドリンは少量では咳止めとして普通に使われているのですが、大量に服用すると麻薬、覚せい剤としての幻覚が起きます。この副作用を意図的に「味わう」人たちが世の中には少なからず存在します。もともと覚せい剤の常習者

もその中にたくさん含まれていると言われています。実はこれらの薬は、本当はネット売れ筋医薬品の上位を占めているのに、検索サイトでは意図的に削除されているという噂があります。

結局、ネット販売に潜む危険性は議論の中心にはならず、利便性や経済活性化への寄与を理由に容認の方向へ向かってしまいました。いったい何のための誰のためのネット容認なのでしょうね。さて、みなさんはどうされますか?

## フランスの坂本龍馬(英雄)

### サンテグジュペリ

谷本 拓郎 (28期)



Jardin Royalのサンテグジュペリ像

高知を離れて26年。この間勉強仕事、観光で色々な国を訪れる機会がありました。2008年9月から3年半、仕事でフランスToulouseに駐在した経験は今でも深い思い出となっています。その街に住み、生活をする中で、ecrivain (作家)、pilote (飛行士)のサンテグジュペリの生き方、残した言葉に強く惹かれるようになりました。限られた紙面ですが彼の生き様、魅力を伝えます。

サンテグジュペリは1900年にフランスLionで生まれ、パリ美術学校建築科に入りその時期パリの左岸に住む作家等文学上重要人物に会う機会に恵まれる。彼の人生はまっすぐで順調な訳ではなかった。若いころの仕事トラックのセールスマンから、空への憧れから飛行士免許を取り、レジャー飛行に従事、26、27歳の時航空会社に採用され整備士となる。その会社で、嘆願し、郵便飛行士のチャンスを得る。1926年郵便飛行士として、Toulouse-Casablanca、Casablanca-Dakarのルートに6ヶ月間従事。飛行機の性能が良くなかった当時のフランスーアフリカ間のルートは命がけ仕事だった。実際、1935年、

トラブルによりリビア砂漠に不時着し、飛行機は故障で助けを待つしか生還できない絶望的状况に置かれる。見渡す限り砂漠で3日間水なしに200キロ近く歩き、ベドウィン遊牧民に救われ奇跡的に生還。彼は郵便飛行士としてのフライトの合間に作家活動を続け、1931年「夜間飛行」、1939年「人間の土地」、1943年「星の王子様」等数々の名著を出版。1940年ぐらいからアメリカに亡命していたが1943年第二次大戦中に祖国フランスに貢献するために、フランスに帰国、前線従事を志願する。1944年7月偵察飛行任務中にドイツ軍に撃墜され、墜落死亡。「ほんとうに大切なものは目には見えない」「救われるには一步を踏み出だすこと」「人生に答えなんてない。前に進む力はある。その力を生み出さなければならぬ。答えは、それについてくる。」彼の言葉は深く、強く、やさしく。Toulouseはサンテグジュペリが郵便飛行士としてデビューした所縁の土地。Toulouseの中心街に近い公園Jardin Royalには1920年当時のフランス、アフリカ、中南米の空路を命を懸けて開拓した飛行士

達を称えて記念碑が建てられています。「A LA MEMOIRE DES PERSONNELS AU SOLSANS QUI CETTE AVENTURE AURAI ETE IMPOSSIBLE. あなたたちがいなければこの冒険は不可能だった」と。

## 同窓会は

### すばらしい出会いの場

住友謙一（30期）



関東支部同窓会がきっかけで、私は多くのすばらしい先輩・後輩との交流を始めることが出来ました。一層、同窓会が相互の発展に協力し合うきっかけになれば良いと思います、原稿を引受けさせていた

だきます。

この原稿をお読みくださっている方とのコミュニケーションのきっかけとして、私がどんな人物かを簡単に記したいと思います。私は高校卒業後、東京大学理科一類に進学しました。大学では、運動会ボデビル部（B&W部）に所属しました。意外にも、高知学芸高校は、東大ボデビル部では名門なんですよ！

当時、全日本チャンピオンにまなびなった学芸27期の山本先輩のほか、高校で同じクラスだった入交、そして私の3人もがボデビルダーとして活動していました（ちなみに私は全日本10位です）。最近では、45期の谷さんが活躍していました。

大学卒業後は、日本興業銀行に入行しました。と言っても、銀行業務は経験したことはなく、20年間ずっと債券（金利）市場業務に携わっています。銀行で市場営業を担当した後、興銀証券（現みずほ証券）に外向、証券ではアナリスト、クオンツ（金融商品の価格やリスクを評価するモデルを作る人）を担当し、現在はみずほ証券でクオンツチームの取りまとめをしています。また、ここ数年は金

融の実務家として一橋大学大学院で金融・証券について教えたりもしています。

アナリスト時代の思い出としては、高知の金融機関にお邪魔した時、学芸の後輩というだけでかわいがってもらい、先輩のありがたさを強く感じたことを思い出します。

ですので、トレーニングやダイエットに挑戦したい方、マーケティング関連の専門的な話題にご興味のある方、就職で金融を考えられている方などにはお力になれるのではないかと思います。

同窓会の場で、また、FBで検索してお気軽にコンタクトください。プライベートでは、写真のとおりロードバイクに激はまっていますので、ご一緒いただける方がいれば嬉しいです。

## 初の人生の転機は

高橋 実枝（42期）

違う世界を知る経験は、いつも私の人生の転機となってきました。二度の海外留学はまさにそんな経験です。

最初は大学時代のシンガポール交換留学。その頃、国際公務員として世界のために仕事をするのが私の夢でした。思えば物心ついた頃から日本についての嫌なニュースを多く聞いて育った私はいつしか日本なんてダメな国だと勝手に思っていました。しかし、初めて日本を出て暮らしたところ、自分のアイデンティティーは日本にあるということ、そして日本は私が思っていたよりもずっといい国じゃないかということに気付かされました。この経験がきっかけで、日本人が自国をもっと誇れるようにしたいと思ひ、財務省に入省して働くことになりました。シンガポール留学は私の人生の転機でした。



留学のシカゴ大学で

入省5年後、今度は米国シカゴ大学に2年間留学する機会を得ました。そこは世界中の学生が集まり、日々議論を重ねる刺激的な場所です。大学に限らず、アメリカは街全体が人種のるつぼ。どう見てもアジア人な私に彼らは平気な道を訪ねてきます。つまり、人種に関わらず、そこに住む人間は皆「アメリカ人」という認識なのです。同じ先進国でも日本とは様々な違いがありました。一方で途上国をもっと知りたくなった私は、カンボジアやアフリカにボランティアとして働きに出かけたりもしました。貧しさ故に売られる小さな少女達がいるカンボジアの現実と向き合い、貧しくてもたくましく学びながらそれぞれ大きな将来の夢を持っているアフリカの孤児達と一緒に暮らす中で、世界の問題を知り、自分が、そして日本ができることに思いを巡らせるきっかけとなりました。

こんな風に、二度の留学は、それぞれ私に新たな視点を与えてくれる転機となりましたが、そもそも私はどうしてこんな風に世界を知りたいと思うようになったのか。実はそのきっかけは学芸の授業にありました。地理の萩先生が、あ

る日授業で、緒方貞子さんという日本人女性が、国連の組織のトップとして素晴らしい活躍をされていることを紹介してくれたのです。日本人の女性でそんな風に世界で活躍している人がいるなんて。当時の私にとって、それは大きな衝

撃でした。その衝撃に突き動かされ、緒方さんの活躍を調べるうちに、自分もそんな風に世界のために活躍してみたいと思うようになったことを今でも鮮明に思い出します。そう、私の最初の人生の転機は、学芸がくれたのです。

## 高知学芸高等学校同窓会関東支部 会計報告

(期間：2011.10.1～2012.9.30)

2012.10.27

(単位：円)

区 分	項 目 及 び 概 要	金 額
【収入の部】	1. 前期繰越金	794,988
	2. 第24回(2011年)総会参加費(126人)	847,000
	3. 年会費 ・総会当日分(¥216,000)、郵便・銀行振込み(¥316,620)	532,620
	4. 祝金(同窓会本部、学芸高校)	130,000
	5. 銀行利息	122
	収入・計	2,304,730
【支出の部】	1. 第24回(2011年)総会関係 ・総会会場・運営費用(銀座ラフィナート ¥789,703) ・その他(総会・懇親会・二次会、郵便料 ¥129,142)	918,845
	2. 機関誌作成・案内状発送 ・「あさかぜ25号」制作費等(¥448,876) ・データ諸費用(サラト)(¥13,812) ・郵便代(¥19,420)	482,108
	3. 幹事会(6回)補助	52,820
	4. 高知県人会 協賛広告料	30,000
	支出・計	1,483,773
【残高】	1. 次期繰越金	820,957